



REPT

NPO 法人 新エネルギーを すすめる宝塚の会

No.36

2021年1月22日
理事長：橋本成隆
〒665-0022
宝塚市野上1丁目1-8
(Tel: 0797-69-8800)
<https://rept.or.jp>

「エネルギーの選択が私たちの暮らしを変える」

～ SDGs 「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」～

と き：2021年2月13日（土） 10:00～11:30

（開場）オンライン、会場参加 共に 9:30～

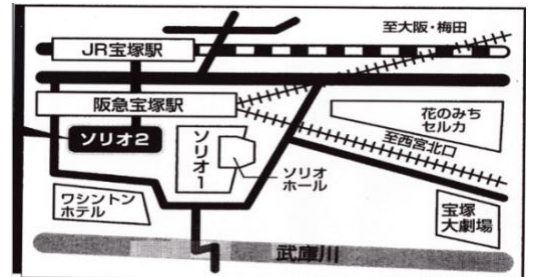
と ころ：宝塚市立男女共同参画センター
学習交流室1AB

（阪急・JR宝塚下車 ソリオ2 4階）

★オンライン（Zoom）でも参加可能

講 師：大谷 常雄 さん

（生活協同組合コープこうべ 環境推進）



（駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください）

参 加 費：無料

定 員：予約制・先着順 *会場：20名 *オンライン：100名

申し込み：*インターネット：当法人ホームページ（<https://rept.or.jp/>）の「お知らせ」から申し込みください。申し込みされますと登録メールアドレスにオンライン（Zoom）情報を送信致します。

*FAX：0797-74-0235 に、①講座名 ②お名前 ③住所・電話番号 ④メールアドレス をご記入の上 FAX 送信ください。（担当）橋本、西田

一時保育：定員10名（1歳から就学前まで）要予約・先着順。

★一時保育の申込は宝塚市立男女共同参画センター（0797-86-4006）まで

～ 勉強会プログラム～

1. 私たちの暮らしとエネルギー
2. 日本のエネルギーの現状と再生可能エネルギー
3. 電力自由化とは
4. コープこうべのエネルギーの取り組み



2021年最初のニュースをお送りします。皆さんは変わらずお元気にされてますでしょうか？
昨年はコロナ禍の影響もありなかなか思うような活動ができない状況でしたが、今年も出来る範囲で活動を継続していきますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

来る2021年2月13日（土）に、宝塚市立男女共同参画センター・エルが推進する市民活動支援事業として「エネルギーの選択が私たちの暮らしを変える」というテーマの講座を開催します。講座のねらいは、一般市民の方々が「電気コンセントの向こう側」に思いをめぐらせるきっかけづくりです。REPT会員のみなさんはご承知かとは思いますが、今は「電気」や「ガス」のエネルギーをどこから買うか選択できます。「電気」の作り方も、Co2排出量の多い石炭火力発電や、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用した方法など様々です。エネルギーをどこから買うか？を選択することがその作り方を、そしてその作り方が私たちの暮らしに与える影響をも選択することになります。

今回の講座では、コープこうべの大谷様を講師にお招きして、電力自由化の状況とコープこうべのエネルギーの取り組みについてご紹介頂きます。皆さんだけでなく、周りの「電気コンセントの向こう側」に思いをめぐらせてもらいたい方をお誘いの上、是非ご参加ください。（橋本成隆）

◆再エネと地域産業の在り方とは ～地域循環共生圏事業の進捗～

2021年になりました。コロナというとんでもないものと対峙することになって、2020年はほとんど何もできていないという声もたくさん聞きます。ソーラーシェアリング市民農園で進めていた取組みも、人と触れ合う機会を減らさざるを得ず年間計画がすっかり変わってしまいました。

楽しんでいただいていたコープこうべの組合員活動に関しては、参加者の募集をかけることすらためられる状況でした。とはいえ、植物の生育時期をずらすわけにはいきません。市民農園でサツマイモを育てるための下準備や経過観察などはなんとか関係者だけで終わらせたのですが、活動を楽しみにしておられた方々は悔しい思いをされたことと思います。さつまいもの収穫だけはどうか組合員の皆さんたちと作業できましたが、畑の準備から一緒にやりたかった思いがあるせいか終わったあとにすぐ、「来年の募集はいつから始まるのか？」「お知らせの掲載はいつか？」とコープこうべさんに聞いてこられたそうで驚きました。そんなにまでしてソーラーシェアリング市民農園での活動を待っていてくださるのかと、そのときのことを聞いているこちらの胸が熱くなります。今年の年間計画はもう立てています。

畑の準備から収穫まで日程も決めました。コープこうべとの取組みは、ただの作業に終わらせないことが特徴です。毎回、必ずミニ学習会をセットで行うことになりました。以前、収穫を終えた後で「ソーラーシェアリングとは何か？この活動の持つ意味は？」といった内容のお話をさせていただいたところ、全員が食い入るように聞いてくれました。

そして、「この話を、ソーラーシェアリング活動が始まる前に聞きたかった。ソーラーシェアリングの意義を理解したうえで作業すると絶対に気持ちが変わる」と言われたのです。こんなふうには人の理解は進んでいくのか、とこちらのほうが俄然やる気が出たものでした。なので、今年はさらに踏み込んだ形で暮らしに直結したエネルギーや経済に関しても話に盛り込んでいこうと思っています。

こういう活動そのものが、すでに「地域循環共生圏事業」であることにどれほどの人が気付いているでしょうか？誰かが始めなければ始まらないこと、そして、動きながら精度を高めて行くこと。人を巻き込み、その輪が広がって行くにつれ少しずつできることが増える。小さな取組みだったはずのものが、気づけば大きな流れになっている。それが本来の意味での「共に生きる地域」につながるのではないかと考えています。

挙げ始めたらキリがないくらいに地域課題は増えています。少子高齢化社会は今に始まったことではありませんが、影響は目に見えて増えてきています。都市部から離れた地域になれば住民の数の減少はただごとではありません。地域社会が担ってきたものが多すぎるからです。田畑は人の手が入らなければすぐに野原と化し、原野へ戻ろうとします。山に至っては、燃料林と呼ばれた里山に手が入らず獣害被害を引き起こす元にもなっています。里山復活というのはボランティア活動だけでどうにかできるものではなく、山仕事としての場にしていかなければこの先さらに山が荒れます。今、木質バイオマス熱利用を進めようと頑張っていますが、あらためて「地域とは何か？」を考えさせられる出来事に直面しています。行政は実現性の低い「絵に描いた餅」を示し、それを実行するためにはさらなる研究が必要、と実行を先延ばしにする癖があるようです。それは毎年山のように出される補助金事業を見れば一目瞭然です。コンサルタントに払うお金をねん出しているのではないかと疑うようなものすらあります。行政の言う「地域の声を聞き、足並みそろえた事業を作っていく」という言葉がうすら寒く響きます。

今やらなければもう間に合わない、自分たちの世代でなんとかしないと若手がかわいそう、という地域の声は、どうやら行政には届きにくいようです。では、このまま手をこまねているのか？そんなわけにはいきません。お荷物に見られている豊かな資源を、本当はこんなに価値のあるものだと証明していかなければ、結局は何も進まず後戻りするばかりです。木質バイオマス熱の利用、それは化石燃料に代わるもの。最も大きな効果を生むのはボイラーに木質チップを投入して熱源としていく仕組みです。薪は人手がかかりすぎ、継続してやっていくには難しい。里山にある広葉樹を計画的に伐採し（およそ20年で循環する）チップ化していくこと。資源もお金も回る仕組みづくりです。

簡単ではありませんが、小さく始めて少しずつ大きな取組みに育てていこうと思います。再生可能エネルギーは電気だけではなく熱利用もあるのだと、ヨーロッパ諸国から100年は遅れている木質バイオマス熱利用を進めるつもりです。「お手伝いしたい」というお声がけもたくさんいただきます。ぜひ、「この分野、こんなことで参加したい」と手を挙げてください。具体的な提案をお待ちしております。
(宝塚すみれ発電 代表取締役 井上保子)

◆じぶん発電所長さん オンライン交流グループをつくりました

前号のニュースでお知らせしていましたが、「じぶん発電所」の交流グループをFacebookで立ち上げました。このグループは、2019年11月に開催した「じぶん発電所づくり」に参加されたじぶん



じぶん発電所長の会@REPT

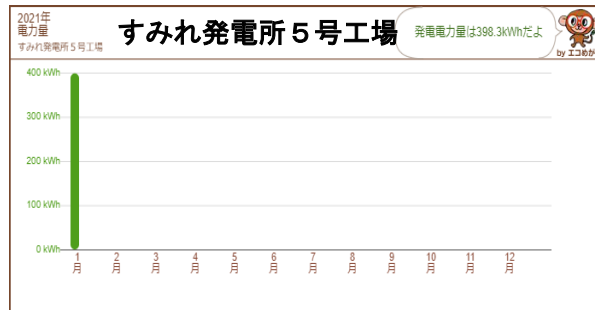
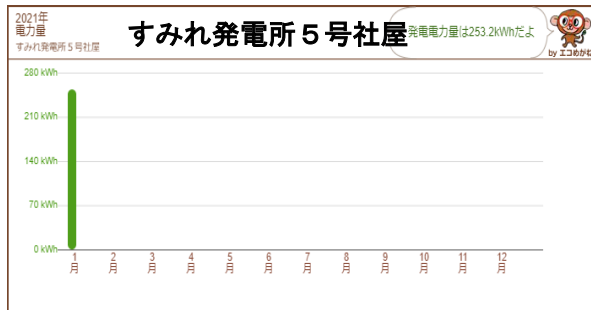
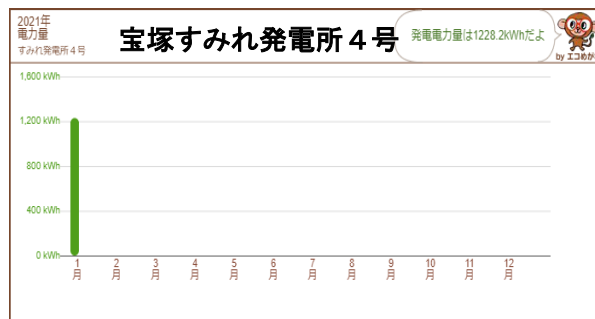
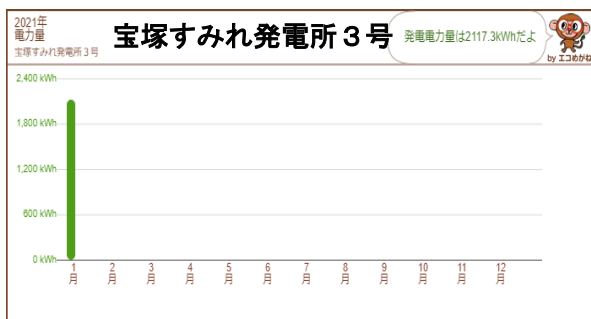
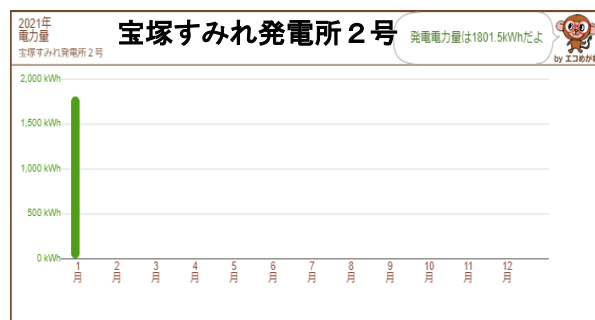
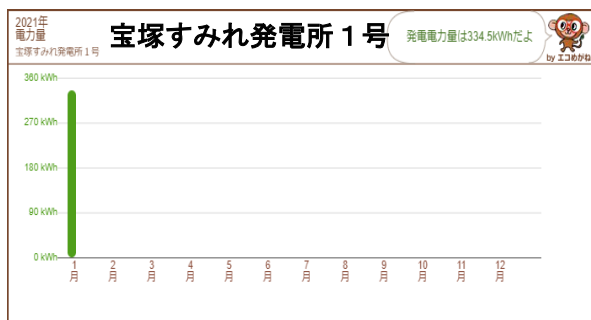
発電所長さんや、発電所に興味のある方同士で交流するグループにしたいと思っています。また、講師の平田先生がまとめてくださった「じぶん発電所 よくあるご質問・トラブル Q&A集」も共有しています。じぶん発電所で発生している症状をパーツの種類ごとに分かりやすくまとめて頂いているので参考に。是非、Facebookグループ

「じぶん発電所長の会@REPT」を検索して参加してください、待っています！！（橋本成隆）

◆発電グラフ（2021年1月18日時点）（注）発電グラフは1月分のみ表示

2019年1月～12月と2020年1月～12月との年間発電量比率：1号：94%、2号：103%、3号：99%、4号：97%、5号：100%、（全体：99%）

<コメント>2020年の発電量は2019年と比較してほとんど変わりません。2号での発電量が増えているのは雑草対策の効果が出てきていると思われます。（西田光彦）



最新の詳しい発電情報は、宝塚すみれ発電のホームページ（<https://sumire.bona.jp/>）左記QRコード）にアクセス頂き、上部メニューの「発電所情報」からご確認いただけます。



お知らせ

【オンラインセミナー】 やってみよう、パワーシフト！ -これからのエネルギーを考える-

<日程>2021年2月10日（水）16:00～17:00、<参加費>無料、<定員>30名（先着順）、

<主催>気候ネットワーク、市民エネルギー京都

<詳細><<https://www.kiconet.org/event/2021-02-10>>

<開催形式>オンライン会議「Zoom」使用。

<内容>気候危機の影響を大きく受ける世代の私たちにできることは沢山あります。その一つとして、「パワーシフト」が今注目を集めています。「パワーシフト」とは、再生可能エネルギーを中心とする持続可能な電力会社を自ら選択する、効果的な活動の一つです。